

令和元年度事業報告書
(平成31年4月～令和2年3月)

I 研究事業

A. 研究事業

a-1. 企画研究

以下2件の企画研究の実施を決定し、研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
9代続くハニ族ならびに苗族民間医に関する現地調査 —医療現場の撮影ならびに伝承文献の翻訳・出版—	冬月 律 李 静	134,875 円
菊地三郎翁研究	堀中 浩 木村実季	100,000 円

a-2. 個別研究

以下1件の個別研究に対して研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
知られざる郭沫若の諸事について	齊藤孝治	200,000 円
内蒙古における近代学堂の創設と留学事業	横田素子	200,000 円
中国西南部における神話研究	百田弥栄子	200,000 円

B. 研究会、講演会等の開催

「三鷹ネットワーク大学」において寄付講座を実施し、好評を博した。

日時	講座名	講演者	出席者数
2019年 5月18日	雲南から日本が見える —日本文化の核にあるもの	欠端 實	29名
2019年 8月17日	中国における乾貨の食文化 —日本とも関係の深い食品・乾貨(乾物)	重森貝崙	32名
2019年11月16日	大嘗祭の始原を訪ねてシルクロードへ	欠端 實	17名
2019年11月30日	映画『永遠のモダンを庭園に—闇夜につぶてを 投げる人・重森三玲』上演会と解説	重森貝崙	28名
2020年 2月15日	海のシルクロードと日本	欠端 實	22名

C. 所報、その他出版物の刊行

c-1. 紀要『中日文化研究所論文集第7号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

(論文)

中国人コンプラドールの「アセン」を追って

—横浜開港最初期の茶貿易との関わり—

櫻井良樹

知られざる郭沫若の諸事について(6)

—第三庁から文化工作委員会へ—

齊藤孝治

- (研究ノート)
 新嘗・稲魂・聖樹
 一ハニ族村落の実地調査記録(その3)一
 (資料・論考)
 「中国が生み出したすばらしい食品 大豆!」
 一日本・中国にみる大豆食文化の交流一
 編集後記
- 欠端 實
- 重森貝崙
- c-2. 所報『中日文化研究第7号』を刊行した。
 掲載原稿のタイトルは以下の通り。
 菊地三郎先生の前半生とその時代(下)
 わが家族の名前について
 一父・重森三玲の日記から探るその由来一
 「刎頸の友、郭沫若と成仿吾のふれ合いについて」(下)
 「阿詩瑪」をめぐる伝承の生成と継承
 編集後記
- 木村実季
- 重森貝崙
 齊藤孝治
 百田弥栄子
- c-3. 『中国文化叢書5号』として、
 DVDブック『永遠のモダンを庭園に一闇夜につぶてを投げる人・重森三玲』
 (重森貝崙)を刊行した。
 『中国文化叢書6号』として、
 『近衛文麿の「日中戦争観」一談話筆記「日支事変について」を中心に』(木村実季)
 を刊行した。
- c-4. DVD映像資料を図書館など教育機関等に販売した。
 制作作品：中国絵巻物シリーズ 『姑蘇繁華圖』、『清明上河圖』
 中国の食文化シリーズ『乾貨の食文化』、『桑基魚塘』
 『北京の食文化 PART II』
 湯島聖堂・原三七と冊子『中国菜』
 『康熙帝還暦を寿ぐ北京の佳き日』
 販売委託先：岩波映像株式会社
- D. その他
 特になし。

II その他の事業

- ① 茨城県美浦村に所有する不動産の賃貸
 公益財団法人アジア・アフリカ文化財団に対して賃貸した。

以上